

谷津干潟自然観察センター特別展示

よみがえるオキノタユウ

五十羽から一万羽へ



2026年

展示期間：10/3(土)～11/15(日)

※休館日は除く、最終日は12時まで

乱獲により絶滅したと信じられてきた大型海鳥オキノタユウ(アホウドリ)は、1951年1月に伊豆諸島鳥島で再発見されました。当時の個体数は二桁、つまり50羽ほどだったと考えられます。それから75年後の今年、ついに鳥島集団の個体数が10,000羽を超えました。本展示では、長谷川博氏が携わった保全活動で撮影した写真や長年の研究における成果を展示で紹介しします。オキノタユウの美しい姿をぜひご覧ください。

※展示期間中に長谷川博氏による講演会を行います。詳細は裏面をご覧ください。

オキノタユウ(アホウドリ)・・・ミズナギドリ目アホウドリ科。全長84cm、翼開長213cmを超える海鳥。伊豆諸島の鳥島と尖閣諸島の魚釣島で繁殖。1890～1900年代に羽毛採取のため大量に捕獲され、1949年には絶滅宣言が出された。その後1951年に数十羽が鳥島で再発見され、保護増殖事業によって、個体数を回復させた。

長谷川博(はせがわひろし)氏

1948年静岡県生まれ。京都大学大学院で動物生態学を専攻し、1977年から東邦大学理学部に勤務。現在、東邦大学名誉教授。1976年から2018年まで鳥島に通い、オキノタユウの保全研究に取り組んだ。吉川英治文化賞や日本学士院エジンバラ公賞などを受賞。



会場：習志野市谷津干潟自然観察センター

住所：千葉県習志野市秋津5-1-1 電話：047(454)8416

※特別展示の観覧は入館料が必要です(入館料：18歳以下無料、19歳以上450円、65歳以上300円)

休館日：月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始(12月28日～1月1日)



観察センターHP

長谷川博氏講演会



よみがえるオキノタユウ： 絶滅危機から一万羽に回復

大型の海鳥オキノタユウ(アホウドリ)は、羽毛をとるために500万羽も殺され、絶滅したと思われていました。さいわい、1951年にごく少数の生存が再発見された後、積極的に保護されて個体数が増加し、今年ついに10,000羽にまでに回復しました。本講演会では長谷川博氏にオキノタユウ個体数増加に向けて行った研究についてお話しいたします。

開催日時 2026年10月3日(土)、11月14日(土)

両日共13:00~14:30

※両日共に同じ内容となります。

対象 小学生以上(小学生は保護者同伴) ※内容は大人向けです。

定員 両日共30人

参加費 1人1,000円(税込)+入館料

申込み 10月の回:9月3日(木)、11月の回:10月14日(水)

それぞれ9時より、観察センター受付、電話または
Webにて事前申込み



イベント申し込み
フォーム

10月3日(土)~11月15日(日)の間、特別展示「よみがえるオキノタユウ:五十羽から一万羽へ」を谷津干潟自然観察センター内で開催します。合わせてお楽しみください。

主催・問い合わせ:習志野市谷津干潟自然観察センター

千葉県習志野市秋津5-1-1 電話:047(454)8416